



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	札幌の平地積雪断面測定資料報告 昭和49～50年冬期
Author(s)	遠藤, 八十一; ENDO, Yasoichi; 石川, 信敬 他
Citation	低温科学. 物理篇. 資料集, 33, 1-6
Issue Date	1976-03-15
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/18679
Type	departmental bulletin paper
File Information	33_p1-6.pdf



Yasoichi ENDO, Nobuyoshi ISHIKAWA, Eizi AKITAYA, Shun'ichi KOBAYASHI, Yukiko MIZUNO, Shigenao SUZUKI, Tomomi YAMADA, Renji NARUSE, Hideaki ABURAKAWA and Hideki NARITA 1975.

Report of Pit-Wall Observations of Snow Cover in Sapporo, 1974 ~ 1975. *Low Temperature Science, Ser. A*, **33**. Data Report.

札幌の平地積雪断面測定資料報告*

昭和 49~50 年冬期

遠藤八十一・石川信敬・秋田谷英次
小林俊一・水野悠紀子・鈴木重尚
山田知充・成瀬廉二・油川英明
成田英器

(低温科学研究所)

(昭和 50 年 12 月受理)

I. 結 言

札幌の平地積雪の断面観測は、昭和 38~39 年冬以来毎年行なわれている。この報告は、昭和 49~50 年冬に実施された積雪断面観測の結果をしめしたものである。断面観測は、北海道大学低温科学研究所の裏庭で行なわれた。観測項目及び観測方法は、前の報告¹⁾²⁾と同じである。

II. 観 測 結 果

積雪断面観測の結果は、第 1 表に示した。表中の第 2 列「成層図」に用いた記号の意味は、第 2 表に示されている。第 3 列の「高さ H 」は、地面からの高さのことで、密度 G 、硬度 R 、雪温 T_s 、及び含水率 W を測定した位置を示している。密度測定は、常に高さ 3 cm の角型サンプラーを使用した。そこで、密度測定の位置 H としては、サンプラーの上辺の位置のみで表わすことにした。それゆえ、例えば、第 1 表 (p. 2) 2 行目の「高さ 31 cm, 密度 0.19 g/cm^3 」の表示は、地面からの高さ 31~28 cm の雪の層の平均密度が 0.19 g/cm^3 であったことを示している。硬度測定の位置は、木下式硬度計が置かれた位置で表わされている。第 8 列に記した平均密度 \bar{G} は、スノーサンプラーで測定した全積雪水量 H_w をその場所の積雪深で除したものである。ただし、星印を付けた H_w と \bar{G} は、第 2 列の成層図と第 4 列の密度の測定結果から概算したものである。気温 T_a は、断面観測時の気温を示している。

なお、参考のために、札幌管区気象台³⁾⁴⁾で測定された日最高気温と日最低気温、および積雪深を第 1 図に示しておいた。図中の白丸印は、断面観測を行なった場所の積雪深を示している。

*北海道大学低温科学研究所業績 第 1757 号

第1表 昭和49~50年冬の積雪断面観測の結果

成層図に用いた記号の意味は、第2表に示されている。高さHと各測定値との関係は本文参照。高さHの項の最上部の数字は、観測日の積雪深に相当する。

年月日 時刻 測定者	成層図	高さ H cm	密度 G g·cm ⁻³	硬度 R g·cm ⁻²	雪温 T _s °C	含水率 W %	全積雪水量: H _w 平均密度: \bar{G} 気温: T _a その他
	粒雪高 度質 高さ						
1974 XII -15 14 ^h 20 ^m ~15 ^h 00 ^m 遠藤		32 31 30 20 19 17 10 8 0	0.19 0.11 0.25	64 32 59	-5.2 -3.5 -1.8 -0.7 0.0	全層 かわき 雪	H _w = 5.3 g/cm ² \bar{G} = 0.17g/cm ³ T _a = -5.2°C 14日吹雪
1974 XII -25 14 ^h 40 ^m ~15 ^h 20 ^m 秋田谷 和泉 遠藤		40 38 33 30 27 23 20 18 13 10 8 5 0	0.07 0.36 0.23 0.22 0.28 0.30 0.28	12 1700 140 300 240 300	-6.0 -4.1 -2.2 -0.8 0.0	全層 かわき 雪	H _w = 9.1 g/cm ² \bar{G} = 0.23g/cm ³ T _a = -7.3°C
1975 I -6 10 ^h 40 ^m ~11 ^h 20 ^m 成田 和泉 秋田谷		55 53 50 48 45 43 40 38 35 32 30 25 20 15 13 10 6 0	0.06 0.13 0.17 0.21 0.31 0.37 0.29 0.33 0.30	75 86 92 470 1000 180 620 330	-1.5 -2.8 -3.7 -2.4 -1.5 -0.6 0.0	全層 かわき 雪	H _w = 14.6 g/cm ² \bar{G} = 0.27g/cm ³ T _a = -0.5°C
1975 I -18 10 ^h 00 ^m ~10 ^h 40 ^m 鈴山 木田 石川 遠藤		65 55 50 45 40 35 32 28 25 15 13 5	0.25 0.14 0.25 0.28 0.39 0.35 0.40	310 220 220 1650 200 520	-5.6 -5.4 -3.1 -1.3 -0.8 -0.5 -0.1	全層 かわき 雪	H _w = 17.7 g/cm ² \bar{G} = 0.27g/cm ³ T _a = -5.3°C 16, 17日猛吹雪

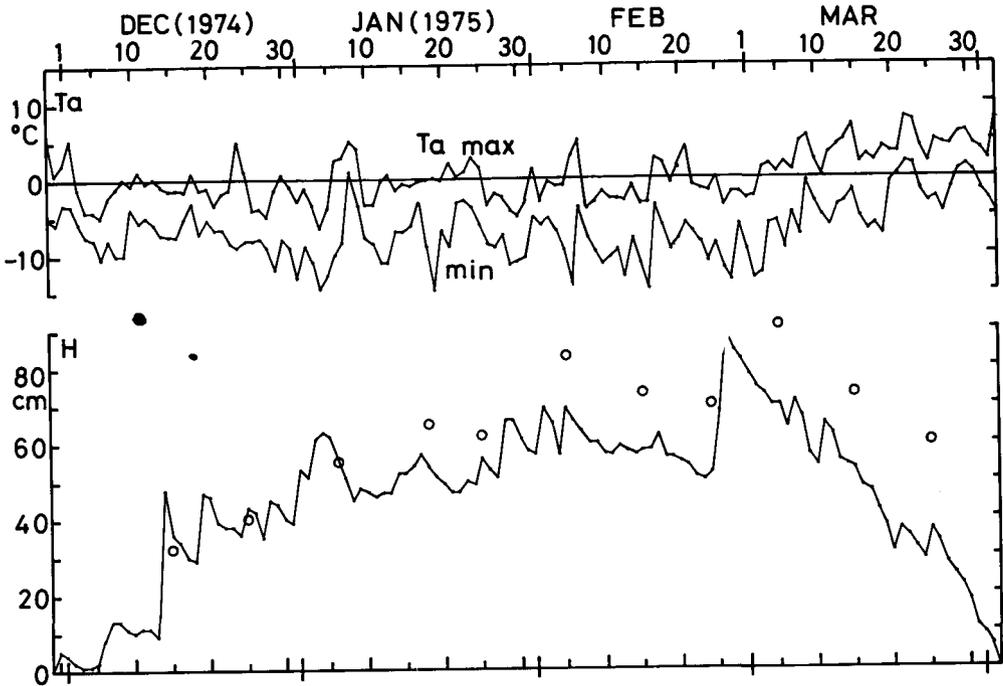
年月日 時刻 測定者	成層図	高さ H cm	密度 G g·cm ⁻³	硬度 R g·cm ⁻²	雪温 T _s °C	含水率 W %	全積雪水量： H_w 平均密度： \bar{G} 気温： T_a その他		
	粒雪高 度質さ								
1975 II-24 13 ^h 30 ^m ~14 ^h 00 ^m 小林 成瀬 荒岡		70		210	-1.5	全 層 か わ き 雪	$H_w = 25.7 \text{ g/cm}^2$ $\bar{G} = 0.37 \text{ g/cm}^3$ $T_a = -1.2^\circ\text{C}$		
		69	0.37						
		62	0.37						
		60							
		53	0.31						
		50			720			-6.4	
		44	0.36						
		40							
		38			520			-4.4	
		33	0.37						
		30							
		27	0.34		970			-2.4	
		20							
18	0.42								
10									
9			2800	-0.4					
7	0.36								
1975 III-5 11 ^h 50 ^m ~13 ^h 00 ^m 水野 遠藤 佐藤		91	0.16	48	0.0	全 層 か わ き 雪	$H_w = 28.2 \text{ g/cm}^2$ $\bar{G} = 0.31 \text{ g/cm}^3$		
		83	0.17						
		80		62	-2.4				
		73	0.17	79					
		70							
		68			290			-2.7	
		60	0.27		340				
		53	0.31		370				
		50							
		47			910			-1.5	
		45	0.37						
		40							
		35	0.37		890			-1.6	
		30			1350			-1.0	
		22	0.37		1900				
20									
14	0.44			-0.3					
10				0.0					
8	0.46		4400						
1975 III-15 10 ^h 45 ^m ~11 ^h 25 ^m 遠藤 水野 高橋		73		76	全 層 0°C	21	$H_w = 28.2 \text{ g/cm}^2$ $\bar{G} = 0.39 \text{ g/cm}^3$ $T_a = +4.1^\circ\text{C}$		
		71	0.34						
		67	0.30						
		62		430					
		59	0.33						
		55							
		52	0.43						
		46						320	
		43	0.38						
		35							
		33	0.40					240	
		30	0.39						
		23	0.35					400	
11	0.40		980						
5	0.43								
					6				
					4				
					4				

年月日 時刻 測定者	成層図	高さ H cm	密度 G $g \cdot cm^{-3}$	硬度 R $g \cdot cm^{-2}$	雪温 T_s $^{\circ}C$	含水率 W %	全積雪水量： H_w 平均密度： \bar{G} 気温： T_a その他
	粒雪高 度質さ						
1975 III-25 13 ^h 50 ^m ~14 ^h 30 ^m 油川 石川		60 55 45 30 20 10	0.22 0.35 0.49 0.46 0.45 0.48	190 245 260 210 200	} 全層 } 0°C	} 3 7 10~ 15	$H_w = 24.9 g/cm^2$ $\bar{G} = 0.42 g/cm^3$ $T_a = 0.0^{\circ}C$
1975 IV-5 11 ^h 00 ^m ~11 ^h 30 ^m 遠藤		18 12	0.46	70			

第2表 成層図に使用した図記号の説明

図記号	雪質	積雪の粒度	
		粒度	粒径
+	新雪	a	< 0.5 mm
>	こしまり雪	b	0.5~1.0 mm
断面積が暗く見える層	不純物(煤煙等)	c	1.0~2.0 mm
○	しまり雪	d	2.0~4.0 mm
■	氷板	e	> 4.0 mm
●	ざらめ雪		
□	こしもざらめ雪		
△	しもざらめ雪		

第1図 昭和49～50年冬の札幌における日最高気温 T_{max} 、日最低気温 T_{min} および積雪深 H (「北海道の気象」より)



白丸印は、断面観測を行なった場所の積雪深を示す。

終りに、この観測に協力していただいた大学院生諸氏に感謝の意を表します。

文 献

- 1) 小島賢治・他 1965 札幌の平地積雪断面測定資料報告, 昭和38～39年冬期, 低温科学, 物理編, 23, 99～120.
- 2) 遠藤八十一・他 1972 札幌の平地積雪断面測定資料報告, 昭和44～45年, 45～46年および46～47年冬期, 低温科学, 物理編, 30, 資料集, 10～28.
- 3) 日本気象協会北海道本部 1974 北海道の気象, 18巻.
- 4) 同上 1975 北海道の気象, 19巻.